



有田議員 宮原では合併前から中心市街地のまちづくりが取り組まれてきました。合併後は浜田町長が先頭に立って商工観光振興協議会を立ち上げられたが、今消えてしまっている。竜北地区では、道の駅、物産館、竜北公園、高速道路のイン

ターなど華々しい話があります。宮原地区だけが合併で損したという話が多く出されています。町民が私に「町内を見ても良かったかい」と言われました。見に行き、話を聞きました。宮原の中心街は明かりが消えたばかり。バス停も和光も閉鎖した。こういう状況を黙っておられるのが議員さんですか」と言われました。また、宮原地区にはガソリンスタンドが1軒もない。こういう状況からして宮原の中心市街地活性化の対策をどうされるのか。

門家の意見、具体的な計



有田芳人 議員

宮原の中心市街地活性化対策はどうするか

中心市街地事業は大変重要な問題

町長 宮原地区の中心市街地の活性化事業は大変重要な問題と認識しています。決して立ち消えはしていません。検討をぜひ進めています。氷川町商工観光振興協議会が設立されています。

住宅・福祉・商業などあらゆる角度から検討

町長 私は、宮原とが竜北とが区分けをする考えは持っています。均衡ある発展が大切で、中心市街地活性化事業は取り組むべき必要があると思っています。住宅政策の面、福祉の面、商業活性化の面などあらゆる角度から検討を進めて、この計画を邁進してまいります。

へドロがたまったので上



そこが聞きたい

一般質問 6 議員立つ

- 三浦賢治議員
 - ① 農業用排水路対策について
- 有田芳人議員
 - ① 宮原中心市街地活性化対策について
 - ② 水路の整備を
- 片山裕治議員
 - ① マイクロバスの運用について
 - ② 氷川町総合型スポーツクラブについて
- 江崎 悟議員
 - ① 町政運営姿勢について
- 吉川義雄議員
 - ① 高速インター建設問題について
 - ② 高齢者が安心して暮らせる街づくりについて
 - ③ 中心市街地の整備について
- 上田俊孝議員
 - ① 雇用対策について

質問の掲載は紙面の都合で発言順番ではありません。また、掲載質問は、各議員の責任でまとめたものを掲載しています。編集の過程で、見出し、答弁者の名前等を編集委員会で行いました。また、掲載項目数は一人2項目までとなっています。

大雨時に排水機の早期始動をすべき



三浦賢治 議員

三浦議員 今年も6月7月の天候で気象庁も予測できない局地的なゲリラ豪雨が発生し、北海道、関東、中国地方に甚大な被害を与えました。現在氷川水系と小川水系の4か所に排水機場が設置されているが局地的なゲリラ豪雨が降った場合、排水機場の処理能力はどのくらいあるのか。また、現在幹線排水路には、野津工区、和鹿島工区、大



氷川排水機場

野工区一部からの排水を氷川排水機場等、沖塘排水機場等で処理しているが一部は八間川にも流れています。氷川排水機場は昭和56年に設置され、29年経過しているため排水ポンプの能力が低下しているのではないかとと思われる。排水処理については漁協と協定はあるのか、大雨に対して早期の始動はできないのか。

運転時期は漁協との取り決めがある

農地整備課長 氷川排水機場が毎秒14m³、氷川排水機場の補完施設として沖塘排水機場が毎秒7m³、砂川排水機場が毎秒15m³、若洲排水機場が毎秒6.5m³です。排水機場は相当年を経過していますので、ポンプ等のオーバーホールや

維持管理技術の向上、排水機場の能力維持に努めています。また、排水機の運転時期は漁協との取り決めがあり、4月から9月まで、導水路の一定水位まで上がらないと運転できません。三浦議員 6月29・30日の集中豪雨で農地が広範囲にわたり冠水しましたが、排水路の路肩が崩れているが問題はないか。また、排水事業は一部完成していますが、幹線、支線の土砂堆積。雑草も見受けられる。農地・水・環境保全事業はどうなっているか。

役場前の排水路浚渫などの計画は

有田議員 役場近くの川も水引が悪くいちご田が冠水したとの苦情も聞いているが、今後の計画はどうなっているか。

排水路を調査する

農地整備課長 土砂の浚渫を考えてほしいということだろうと思います。土砂の堆積状況も今回の予算で、土砂を排出する必要があります。調査をしたいと思えます。まずは現在の排水路の状況を確認し計画づくりをすすめていきたいと考えています。